

事業名	県社会福祉協議会関係助成費	財務コード (事業)	074606
-----	---------------	---------------	--------

細事業名	民間社会福祉施設振興資金貸付金
------	-----------------

担当部課室	福祉保健 部 福祉保健総務 課 福祉企画 担当 (内線)	3096
-------	------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S48 年度 ~ 終期 年度																						
実施主体	県(直営)																						
事業の目的	誰(何)を対象に 民間社会福祉施設	その対象をどのような状態にして 施設運営の安定化が図られることにより、安全安心で良質なサービスが提供できる。	結果、何に結びつけるのか 地域福祉の増進																				
	社会福祉事業の健全な運営を図ることを目的として、県が無利子で県社会福祉協議会へ原資を貸し付け、これを県社会福祉協議会が民間社会福祉施設に貸し付けている。																						
事業の内容 ※主に 23年度	・貸付内容 運営資金 限度額 200万円 貸付期間 12月以内 利率 2% ・実績																						
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>施設整備資金</td> <td>運営資金</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>2件 7,120千円</td> <td>5件 10,000千円</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>4件 17,140千円</td> <td>2件 4,000千円</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>0件 0千円</td> <td>0件 0千円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>0件 0千円</td> <td>0件 0千円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>廃止</td> <td>2件 4,000千円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>〃</td> <td>0件 0千円</td> </tr> </table>				施設整備資金	運営資金	H18	2件 7,120千円	5件 10,000千円	H19	4件 17,140千円	2件 4,000千円	H20	0件 0千円	0件 0千円	H21	0件 0千円	0件 0千円	H22	廃止	2件 4,000千円	H23	〃
	施設整備資金	運営資金																					
H18	2件 7,120千円	5件 10,000千円																					
H19	4件 17,140千円	2件 4,000千円																					
H20	0件 0千円	0件 0千円																					
H21	0件 0千円	0件 0千円																					
H22	廃止	2件 4,000千円																					
H23	〃	0件 0千円																					
根拠法令等	山梨県民間社会福祉施設振興資金貸付要綱																						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 貸付金額	4,000千円	10,000千円	0円	10,000千円	10,000千円	目標設定の考え方 毎年度、運営資金10,000千円貸付を予定している。 データの出典等 予算見積書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	0.0 %				
成果指標						目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	%				
決算額、予算額	4,000		0	10,000	10,000	成果指標によらない成果 施設の運営に必要な貸付資金を有することにより、社会福祉法人等が安心して運営を行うことができるため、質の高い施設サービスの提供が継続できる。
(千円) うち一財額	0		0	0	0	
所要時間(直接分)	50 時間		50 時間	50 時間	50 時間	平成23年度の貸付希望調査を実施した結果、返済計画の不備等の理由により貸付までには至らなかったが、5件の貸付希望があったため、潜在的な需要はあるといえる。
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	時間	時間	
所要時間計	50 時間		50 時間	50 時間	50 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	101		101	101	101	

III これまでの事業の見直し・改善状況

H12年度	貸付限度額の引き上げ 施設整備資金300万円→500万円、運営資金100万円→200万円 貸付期間の延長 施設整備資金5年以内→8年以内、運営資金6ヶ月以内→12ヶ月以内 利率の引き下げ 3%→2%
H22年度	施設整備資金の貸付が、H20,H21と実績が「0件」であったことから、H21をもって終了とし、運営資金貸付のみとした。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
d	d	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
	c	貸付実績は0件であったが、運営資金を貸し付ける資金を有することにより、社会福祉法人等が安心して経営を行うことが出来、質の高い施設サービスの提供を確保することができる。 また、当初、県社協において貸付の希望調査等を実施したところ、社会全般の金融不安等の影響もあり、自己資金の確保や返済計画の困難性、延期等の理由により、実際の貸付までには至らなかったが、貸付希望は5件あったことから潜在的な需要はあるといえる。 このため、意図した成果は充分ではないが、方法の改善により成果が見込めると思われる。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	施設の運営に必要な貸付資金を有することにより、社会福祉法人等が安心して運営を行うことができ、質の高い施設サービスの提供ができるといった制度の有効性はあるが、最近の貸付の状況や低金利傾向を勘案して、当分の間、貸付事業は休止とし(償還に係る事務は継続)、今後、当該制度の利率(2%)を超えるような金利傾向が継続する様な状況となった時、再開を検討する。	m

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	近年(H22)において貸付実績があること、また貸付決定に至っていないものの、事業者の資金ニーズがあることから当面、事業予算は確保していく。今後、貸付希望数や貸付実績等を勘案し、廃止を含めた事業の継続について検討を行っていく。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。